

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間いのちとくらしをまもる
防災減災令和7年8月14日
留萌開発建設部

羽幌町で港湾業務艇による物資輸送訓練を実施します

～命のみなとネットワーク形成に向けた取組～

国土交通省は、みなとの機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワーク「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取り組みを進めています。

このたび、留萌開発建設部では港湾業務艇（ゆりかもめ）を活用した物資輸送訓練を実施します。

本訓練を通じ、「みなと」を活用したネットワークの形成を図るとともに、自治体との連携を強化し、災害時における離島の孤立に備えます。

記

1. 内容 港湾業務艇（ゆりかもめ）による物資輸送訓練
2. 日時 令和7年8月20日（水）8時15分～11時30分
3. 場所 （出発）羽幌港
（到着）天売港
4. 主催 留萌開発建設部、羽幌町
5. 添付資料 別紙1：「命のみなとネットワーク」について
別紙2：訓練場所位置図
別紙3：訓練の状況写真申込書
6. その他 天候等の事情により、訓練が中止となる場合があるため、現地での取材は実施しませんが、訓練状況の写真提供は可能です。写真を希望される場合は、別紙3「写真申込書」にて8月18日までに申し込みください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-1205
留萌港湾事務所長 八柳 敦（内線 20）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式X（旧 Twitter）アカウント @mlit_hkd_rm



「命のみなとネットワーク」について

- 豪雨による洪水や土砂災害等により陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めている。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



H30年7月豪雨時の物資輸送
(広島県中田港)

【被災者の救援輸送拠点】



R3年8月大雨で孤立した地域で
住民輸送を実施 (青森県風間浦村)

【生活支援拠点】



R5年6月奄美地方大雨時、花天漁港へ
停電復旧に必要な作業車両を海上輸送
(鹿児島県篠川港)



H28年熊本地震発生後、官公庁船から
市民への給水を実施 (熊本県熊本港)

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組



支援物資輸送訓練 (和歌山県日高港から由良港へ)
[令和6年1月]



災害支援協定の締結 [令和6年3月]
(宮古市(右から2人目が山本市長)と
国土省釜石港湾事務所)



支援物資輸送訓練
(北海道香深港から礼文西漁港へ)
[令和6年5月]

訓練場所位置図

天売港



羽幌港



【別紙 3】

国土交通省北海道開発局

留萌開発建設部 留萌港湾事務所長 八柳 宛

申込先

メールアドレス : yatsuyanagi-a22aa@mlit. go. jp

F A X : 0 1 6 4 - 4 2 - 6 1 9 9

『港湾業務艇による物資輸送訓練』

訓練の状況写真申込書

訓練の状況写真を希望される場合は、本申込書により、メールまたは F A X にてお申込みください。

申込締切は、8月18日（月）です。

申込日： 月 日

会社名及び部署	
取材者名	
連絡先（TEL）	
メールアドレス	

※ご記入いただいた個人情報は、本訓練以外の目的には使用いたしません。